

スマートシティの実現に向けたニーズ提案書

様式2

提出年月日： 2019 年 9 月 2 日

地方公共団体名： 中野区

○提案内容

(1)実現したい都市のビジョン

中野駅周辺は、区全体を「持続可能な活力あるまち」へとけん引する区を中心拠点として、多様な都市機能が集約された「東京の新たなエネルギーを生み出す活動拠点」となることを目指す。

これまでの中野のまちの強みを活かしながら、最先端の業務拠点、個性豊かな文化発信拠点、最高レベルの生活空間といった多彩な魅力を持ったまちを実現する。

1. 最先端の業務拠点（将来像～働き、学び、楽しむまち）
 - 企業や教育・研究機関などの多様な活動
 - 業務活動の成果につながる人的・知的交流の場
 - 仕事以外の時間を彩る豊かな商業、飲食、文化・教育施設
 - 職住近接のライフスタイル
 - 回遊を促すユニバーサルデザインの道路交通環境
2. 個性豊かな文化発信拠点（将来像～新たな文化・情報が生まれ、国内外に広がっていくまち）
 - 多様な表現・文化活動の集積、人材とコンテンツの輩出
 - まちを活性化する魅力の発見・発信・ブランド化
 - オープンスペースからの文化発信
 - 国内外から広く注目されるまち
3. 最高レベルの生活空間（将来像～暮らしやすさが向上し続けるまち）
 - 安全で快適なまちなみ
 - 量的・質的に充実した商業空間
 - どのライフステージにあっても、安心して健康を維持できる生活
 - 多世代が居住するコミュニティ

(2)新技術の導入により解決したい都市の課題

※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください(複数ある場合は、課題ごとに対応を記載ください)

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>[交通] 中野四季の都市(まち)の開発に伴う昼間人口の増加などにより、歩行者、自転車、自動車の動線が交錯、混雑しているため、交通環境の安全性・快適性を確保することが求められている。 だれでも安心してまち歩きを楽しめる環境を整えることが必要。</p>	(ア)
<p>[防災] 避難場所へつながる動線やオープンスペースが少なく、安全な避難路の確保が不可欠である。 災害時における、避難場所等への効率的な誘導体制の構築が求められている。</p>	(ウ)
<p>[物流] 中野駅周辺の商店街が集積する地域において荷捌き車両の路上等での駐停車が、道路交通の円滑化を阻害する要因となっている。</p>	(コ)
<p>[都市計画・整備] 中野駅周辺のまちづくり・基盤整備が進展し、定量的な事業の効果検証が必要である。</p>	(サ)

(3) 具体的に導入したい技術(既に想定しているものがある場合)

- ・人流、物流に係るデータ収集及び分析
- ・都市活動の解析、予測
- ・デジタルサイネージ、AIスピーカーによる誘導技術
- ・データ連携を促すプラットフォームの構築

(4) 解決の方向性(イメージでも可)

[交通]

人流データに基づくオープンスペースの最適設計、バリアフリー経路の設定、移動動線の再構築
道路交通データ等に基づく、道路空間の再構築

[防災]

環境・人流センサー等に基づき、一時滞在施設・避難場所の滞留情報等をスマートフォンやデジタルサイネージを活用して発信・共有を行うことによる、効率的な誘導體制

[物流]

ICT等を活用した公共荷捌き駐車場等への誘導システム化

[都市計画・整備]

交通データ等解析に基づく、まちづくり・基盤整備の定量的な事業評価

(5) その他

※先行してシステム導入を行いたい地域や、既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、(5)にご記入ください。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
まちづくり推進部 中野駅周辺まちづくり課	二崎 卓	03-3228-8912	ekishuhen@city.tokyo-nakano.lg.jp